

414
A2630

貿易規則ノ称アレハ外國人ニ施スベキ規則タ

ルハ論ヲ俟タス然リ而メ凡ソ外國人ニ施スベ

キ法則ヲ設立セントスルニハ現存ノ條約ヲ重

修ナカバ格別其重修ナキ今日ニ於テハ先ツ現

存ノ條約及ヒ其一部分ナル貿易章程ノ條款ニ

照シテ抵觸スル所ナキヤ否ヲ審シ新法則ニ依

テ我ニ得ル所ノ利益ノ多少ヲ查シタル後其現

存ノ條約及ヒ貿易章程ニ抵觸シ或ハ新設ニ係

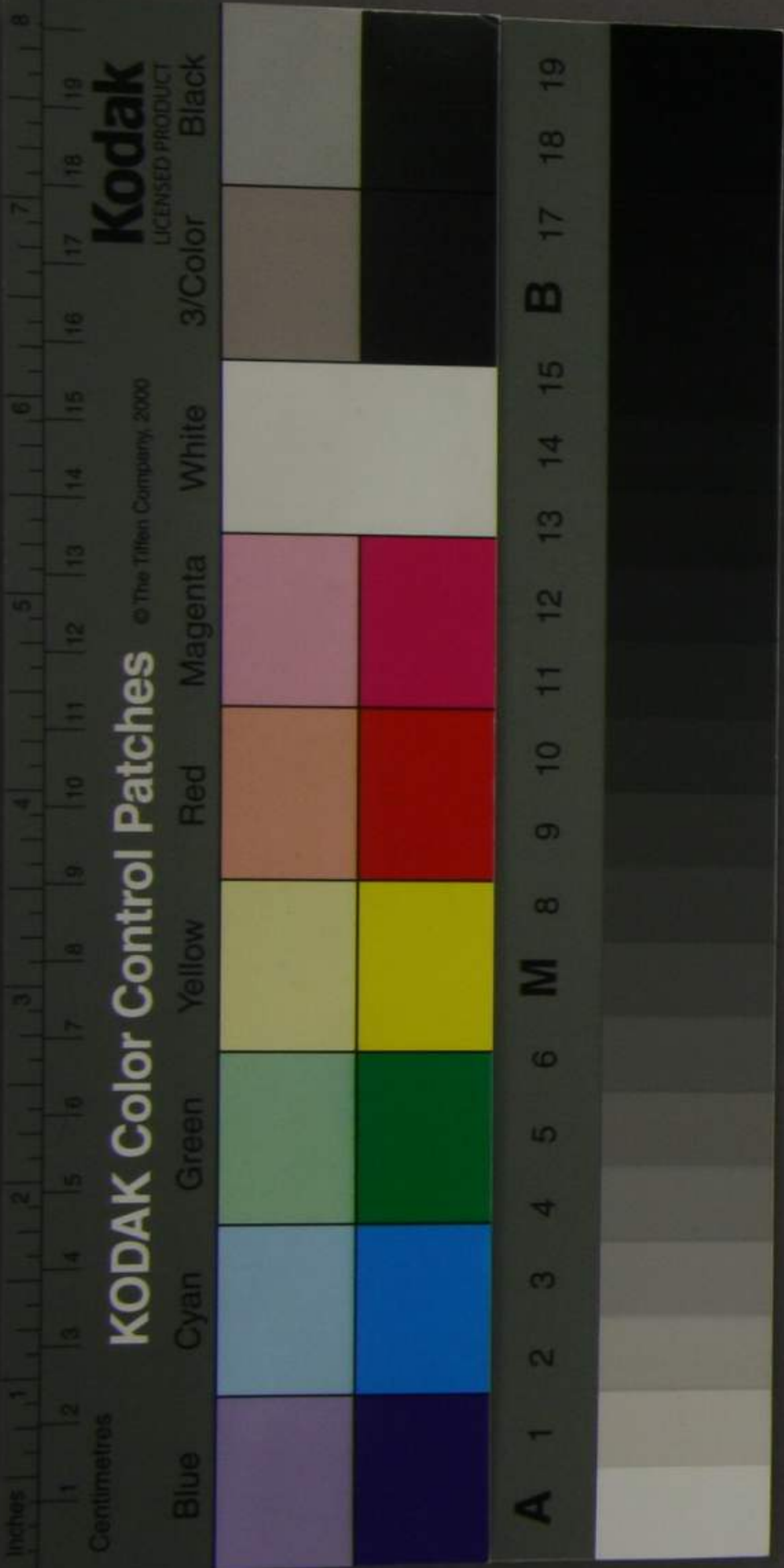
ル條件ヲ掲ケテ彼ノ政府若クハ公使トノ談判

ニ取掛ルベキト相當ノ順序ナルベシ是ニ因テ

貿易規則草案ヲ以テ現存ノ條約及ヒ貿易章程

ニ照シ審按スルト尤ノ如シ

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



第一則 貿易章程以下澳國ニ依 第一則ノ事

ヲ掲ケタリ

第二則 前ニ同シ只タ一日未滿ノ端時間ノ

ヲ新ニ加ヘタリト虽モコノコトタルヤ定

メテ從來ノ慣例モアルベシ別ニ明文ヲ掲

クルニ及ハザルベシ

第三則 第四則 貿易定則 第四則ニ明文アリ

第五則 各國ノ貿易定則ニモ皆明文アリ

第六則 倉庫ニ入レタル貨物ノ内ヲ賣拂ント

スルハ第一則ノ手数ヲ為シ其賣ルベキ

分ハ有税品ナレハ定則ノ税金ヲ納メシム

ト云又定則ノ税ヲ納メシムレハ第一則ノ

手数ヲ為サシムルハ無益ノ手数ニ似タリ

第七則 各國ノ貿易章程ニ載セタリ亦五五

第八則 前同断但タ罰金ヲ謝金ト改メタルハ

第九則 積荷目録中ニ漏レタル諸品物ヲ陸揚

スルハ其品物ニ倍ノ税ヲ拂フト西班牙

澳地利ノ貿易定則第二則ニ明文アリ是

テ十分ナルベシ但無税品ニ對シ何ホノ罰

モナキヲ以テ或ハ存スルモ可ナラン

第十則 貿易定則ニ明文アリ

第十一則 前第十則ニ掲ルテニテ既ニ十分ナ

ルベシ若シ不十分ニテ本則ヲ新設スル

要ナリトスルモ裁判權ニ関スル

只タ煩雜ナルト時トシテハ事實其調

ノ明カナラザルトニ苦シムベシ

第十二則前条ヲ存スレハ本条モ存セサルベ

カラス止タ其貨物ノ通関ヲ許サスト云フ

ニ至テハ餘リ酷ニ似タリ

第十三則現行ノ条約ニ於テ品物ノ申立直段

不相當ト認ルキハ税関ニ於買上ケル云々

ノ明文アリ何故ニ五分ノ金額ヲ添エルヲ

要スルカノ理由ヲ見出サズ

第十四則ヨリ第十六則迄ハ貿易定則ニ夫々

載セタリ

第十七則前同断但有害ノモノト確認スルキ

ハ其品物ハ通関ヲ許サズ或ハ没収スト云

第ニ至テハ其意味汎キニ過キテ底止スル

所ヲ知ラズ今少シク確的ナル文ニ修正ス

ルカ或ハ有害ノ二字ヲ彫除アリタシ其

第十八則第十九則ニ何レノ國ノ貿易定規ニ

モ明文アリ

第二十則澳伊貿易定則第四則ニ明文アリ

第二十一則仕入書ノ一項新設ニ係ルガ如シ

ト雖モ第十一則ヲ存スレハ本則ニ復タ存

スベシ

第二十二則新設ニ係ル仕入書ハ畢竟従價税

収入ノ用ニ供スルタメナルベシ其副本ヲ

税関長ヲ所有シ歸スルハ何イタメナルカ

輸出入ノタメ繁冗ノ嫌アリ

第二十三則

第二十四則 日没ヨリ日出迄ハ荷物ノ揚却ヲ禁スルノ明文澳ノ貿易定則第二則ニマリ特ラニ年中ノ積却ノ時間ヲ示スハ要用ニアラズ

第二十五則 何レノ國ノ貿易定則ニモ載セタリ但船長或ハ引受人ハ其封印ノ破レ若クハ其錠ノ取除アルハ自身若クハ其乗組人ノ所為ニ非アルヲ口実トシテ其責ヲ免カルヲ得スト云フニ至テハ新設ニ係ルト雖止タ口実トシテ責ヲ遁ルハ不能ハサルハ素ヨリナリ凡ソ人ニ責ヲ負ハレムルニハ必ス其人ノ過失ナカルベカラズ其過失ナク全ク其人ノ意外若クハ抗拒スベカ

○第二十九則
澳貿易規則
第二則第五項
ニ明文アリ

テナルトニ出ル者マデノ責ヲ負ハレムルハ一般ノ法理ニ背キタル苛法ナルカ如シ
第二十二則 各ノ國ノ貿易定則ニモ載セタリ
第二十三則 及第二十八則ハ新設ニ係ル條約ニ別ニ明文ナシト雖也斯ノ如キ處分ハ條約ノ意味ヲ推究説明シテモ為レ得ベキナリ特ニ一條ヲ設クルハ文字ニ拘泥レ過キタルカ如シ
第三十則 及第三十一則 各國ノ貿易定則ニ載セタリ
第三十二則 新設ニ係ル裁判權ニ關係ナシト雖也洋銀ヲ以テ納税ニ充ルヲ止メシムル者ナレハ一種ノ別問題ニ涉リ全ク條約

ノ部ニ属スル者ノ如シ

第三十三則新設ニ係ル税金ヲ過納セシキハ

三十日以内ニ届出ルニ於テハ返金スベシ

トノ三十日ハ何ニ依テ定メタルカ一般ノ

期満得権ノ法ニ照シテ餘リ短期ニ過ク

第三十四則新設ニ係ル取除ナル無税ノ人ヲ

掲ケス却テ一般ノ有税者ヲ掲ク主客ヲ轉

倒ス彫除スルヲ可トス

第三十五則沿海貿易ヲ更ニ明許スルニ至ル

削ルヲ可トス若シ本條ヲ存シ置ントセハ

貿易ノ本旨ニ從ヒ各國ノ例ニ倣ヒ沿海貿

易權ニ獨リ我國人ニノミ與ヘ澳ノ條約第

十一條獨ノ條約第八條ノ三項ヲ改正ヲ要

六五ノ例ニ本條ヲ存シ置クニ保證人ヲ立

テテルノ法ハ不愜ニシテ且煩ハレ税額

相當ニ金負ヲ預ケ置カシムルノ便ナルニ

如カス

第三十六則第三十七則各國ノ貿易規則ニ明

文アリ

第三十八則新設ニ係ル手数料ヲ時々定ムル

トハ何人ガ定ムルカ預シメ何々ノ手数料

トシテ其高ヲ定メ置カザレハ偏頗ノ恐レ

アリ

第三十九則日本文ニテハ船ト云フ字ノ解釋

ハ敢テ要用ナラザルカ如シ

第四十則新設ニ係ル苟モ罰則ヲ施行スルノ

△若シ起草者
 於此事ハ裁
 判權ニ関スルヲ
 以テ暫ク現行ノ
 條約ニ依リ彼
 ノ領事ニ於テ
 決行セシメ其
 罰金若クハ沒
 収シタル物
 ニシテ我政府ニ
 入セントスル
 意ナラハ今我
 得ル所ノ利益
 云フハ僅カニ下
 項ニ陳フル所
 ノモノ
 一三

權ヲ税関長ニ委ヌルハ行政司法兩權ヲ混
 淆ス宜シク別ニ至急吟味法ヲ設ケ裁判官
 裁斷ニ任スヘキナリ
 古ノ如ク新設ニ係ル條ト條約及ヒ貿易定則ニ
 明文アル條トヲ分折シタルヲ以テ今爰ニ貿易
 規則ヲ改正スル利益ヲ示サンニ其第一緊要ナ
 ルモノハ條約ニ載スル罰金或ハ沒収ヲ決行ス
 ルノ權ヲ彼ノ領事ノ手ヨリ我政府ニ取上ルニ
 アル第二罰則ヲ新設シ或ハ仕入書ヲ出サシム
 ル等多少ノ便宜ヲ増スフアリト虽此等事タル
 ヤ税関ト無事トノ談判ニテモ整フベキ程ノ一
 ニテ利益ニ係ル所太々大ナラズ故ニ該規則ノ
 改正ヲ彼ノ政府若クハ公使ホニ商議セントセ

ハ第一其改正新設ニ係ル條件ノミヲ抜書シテ
 之ヲ示シ第二現行ノ條約及ヒ貿易定則中何々
 ノ条ハ何ト改正シ其罰則モ我政府ニテ決行
 スベキ旨ヲ以テセザルベカラス因テ熟ク按ス
 ルニ本條約重修ヲ後ニシ此貿易規則ノ改正ヲ
 前ニセントスルハ抑モ難カラシク

山崎直胤

